

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	01	03	164090	6次産業化推進事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	1	農業生産の支援			
目的	農業所得の向上及び農業経営の安定化					
対象	農業者、農業者団体					
意図	農業・農村の6次産業化を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○6次産業化推進事業 6次産業化推進に係る各種情報の提供 花巻市6次産業化ネットワーク交流会の開催						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	セミナー・講習会開催回数	回	計画	5	4	
			実績	1	1	
②	六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定事業者等	事業者	計画	10	10	
			実績	9	9	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	セミナー・講習会等参加者数	人	目標	300	300	
			実績	158	74	
②	六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の新規認定件数	件	目標	1	1	
			実績	0	0	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
セミナー等を複数回開催する計画であったが、交流会の開催のみにとどまったことから、セミナー等の参加者数は目標値を下回った。 農業者等が6次産業化に取り組むにあたっては、商品開発や販路開拓等、担い手の意欲や能力により解決しなければならない課題が多々あり、農業者等が個々の取組により6次産業化を成功させることは容易ではないため、事業計画の新規認定件数が伸び悩んでいる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	高齢化や人口減少等、地方を取り巻く情勢が厳しさを増す中、地域活性化を図るため、雇用創出と所得向上が期待できる農業・農村の6次産業化を総合的に支援する必要があるため。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	6次産業化の取組の発展段階に応じて総合的な支援を行うことにより、セミナー等の参加者数、事業計画の新規認定件数ともに増加の余地があるため。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業実施のための最低限の予算、人員で実施しているため。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	全ての農業者等を対象とした事業を実施しているため。また、市として6次産業化を推進するものであり、費用負担を求めるものではないため。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
6次産業化を推進するために、農業者等にセミナーの開催等について情報提供を行うとともに、花巻市6次産業化ネットワーク交流会を開催し、農業者等が6次産業化に取り組むための支援を行うことができた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	06	01	03	164090	6次産業化推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		0	0		
財源内訳	国・県	28年度は、いわて6次産業化支援センターが事業費を負担したため、市の負担はなし。			
	地方債				
	その他				
	一般財源				

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

収益性の高い農畜産物の生産を進める

事業開始の背景・経緯

平成26年6月に閣議決定された日本再興戦略（改訂2014）においては、6次産業の市場規模を現状の1兆円から2020年までに10兆円にするとの目標を掲げている。市としても、地域活性化を図るため、農業・農村の6次産業化を総合的に支援する必要がある。

事業概要

○6次産業化推進事業
6次産業化推進に係る各種情報の提供
花巻市6次産業化ネットワーク交流会の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

6次産業化を推進するに当たっては、農業者等が主体となって6次産業化に取り組むことができるよう、取組の発展段階に応じた総合的な支援や人材育成等が必要であると考え。また、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂と締結した地域活性化包括連携協定に基づく、消費者ニーズに合った商品開発や販路開拓等を検討する必要がある。

関係者からは、6次産業化ビジョンの策定や専門的な知識を持った職員の配置について意見・要望が寄せられている。

担当部署 部名 地域振興部 課名 定住推進課 担当係長 寺林和弘 内線 435

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【6次産業化の推進を図るうえでの課題】
① 消費者ニーズの把握、商品開発、販路開拓等、取組の発展段階に応じた支援が不足
② 広聴広報の不足

【6次産業化の推進を図るための対策】
① 6次産業化プランナー、食のプロフェッショナルアドバイザー等を活用したセミナー、相談会、研修会等の開催
② 制度の周知等

【事業内容】
① セミナー、相談会等の開催
講師：6次産業化プランナー、県産業創造アドバイザー、食のプロフェッショナルアドバイザー等
○事業名：花巻市6次産業化ネットワーク交流会
○主 催：花巻市、岩手県、いわて6次産業化支援センター
○日 時：平成29年2月9日（木）13：30～
○場 所：ホテルグランシェール花巻
○内 容：
(1) 講演会 テーマ「農観連携による花巻らしい商品開発」
講師 岩手県6次産業化プランナー 工藤 桂 氏
(2) 事例発表
①佐藤ぶどう園の取組
～世界にも通用する究極のお土産10選に選ばれるまで～
佐藤ぶどう園 佐藤 徹 氏
②全国に自慢できる地元素材をベースとした「ちょいちょいシリーズ」開発
十和田香美工房 松田 美穂子 氏
(3) 出展者による事業所・製品等PR、6次産業化製品の展示、試食・試飲会、交流会
出展事業者：8事業者、参加人数：74名

② パンフレット、HPによる情報提供